

東京湾岸エリア最大級の都市型自転車イベント



東京バイバイシクル2026
コンテンツ・PR案

体験を通じて自転車の魅力を感じ、**未来のユーザー**を増やすイベント。

東京バイバイシクルの主なターゲットは、
まだ自転車の魅力を知らない／興味を持っていない層です。
車種を問わず、体験を通じて自転車の魅力や楽しさを訴求し、
「気軽・便利」「スムーズな移動」「経済的」「楽しい」といった
自転車の価値を体感する入口を提供します。
東京バイバイシクル2026では、試乗や展示に加え、
自転車に興味・関心のない層も楽しめる体験企画を拡充し、
新たな自転車ユーザーの創出につなげることを目的として開催します。

開催時期：2026年10月10日(土)・11日(日)

開催時間：10:00-16:00

開催場所：有明ガーデン(スポーツエンターテインメント広場+有明ガーデンパーク)

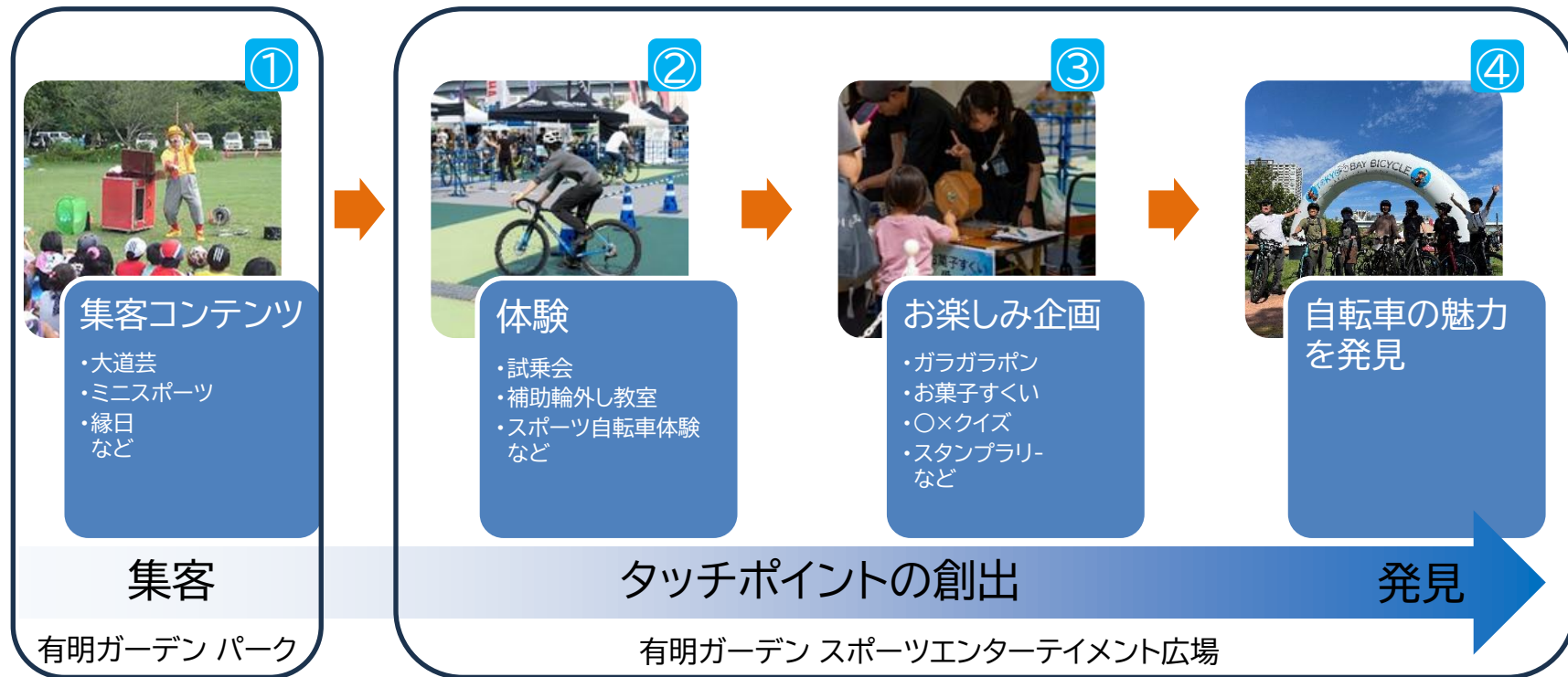
主催：グローブ・スポーツコミュニケーションズ株式会社

特別協賛：一般社団法人 自転車協会

後援(予定)：自転車活用推進議員連盟
一般財団法人自転車産業振興協会
一般財団法人日本自転車普及協会
日本自転車軽自動車商協同組合連合会
GRAND CYCLE TOKYO実行委員会

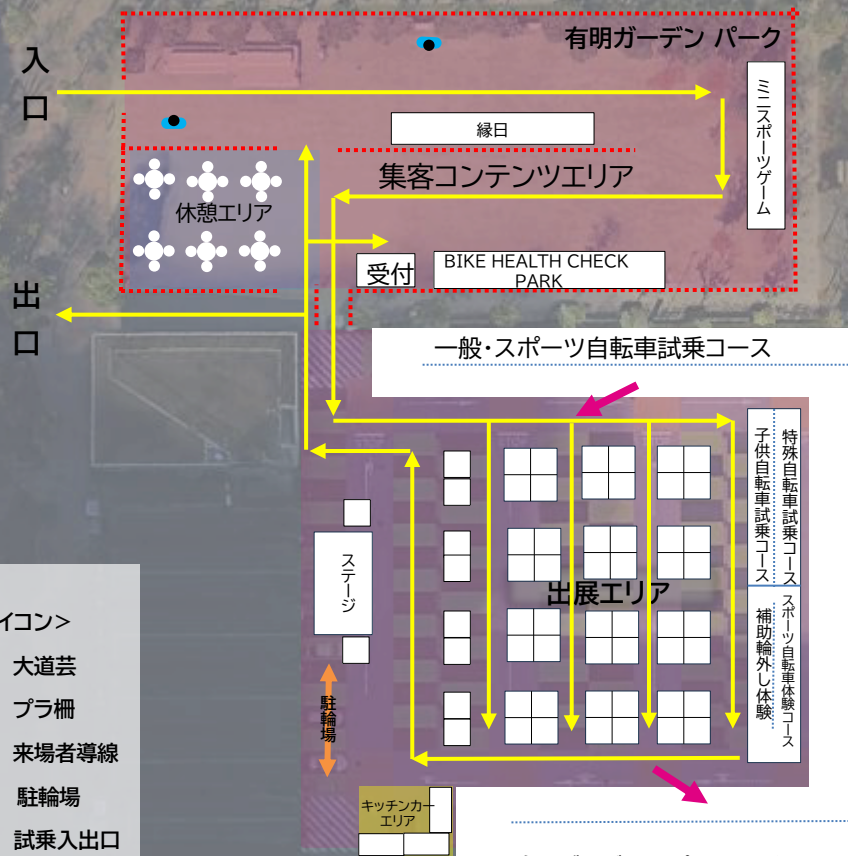


有明ガーデン来場者を、集客コンテンツをフックに会場へ誘導し、試乗/体験企画等の自転車関連コンテンツを楽しんでいただきながら、これまで自転車に興味・関心のなかった層にも自転車の魅力や楽しさを体験してもらう内容や導線としています。



来場者の導線を工夫し、入口から出展エリアへ自然に誘導できる設計としております。

- 入場者が集客コンテンツエリアのみ滞在し、そのまま退場することを防ぐため、会場内は一方通行の導線とし、出展エリアへ誘引させます。
- スタンプラリーカードを配布し、出展エリア/集客コンテンツエリア双方を回遊させ、会場全体での滞留時間増を図ります。
- さらに、休憩エリアから集客コンテンツエリアへ再入場できるようにすることで、何度でもイベント全体を楽しめるようにしています。
- 一方通行の導線ですが、出展エリア回遊中に試乗を希望される場合は、受付へ移動できる導線も確保しています。



<アイコン>

- 大道芸
- プラ柵
- 来場者導線
- ⇄ 駐輪場
- ➡ 試乗入出口

【有明ガーデン パーク】

- 集客コンテンツエリア(緑日/大道芸/ミニスポーツゲーム/BIKE HEALTH CHECK PARK)
- 休憩エリア(円テーブル 6台+パイプ椅子 24脚)

【有明ガーデン スポーツエンターテイメント広場】

- 出展エリア(56ブース)
→カテゴリごとにゾーニング
※カテゴリごとに集客の偏りがないように考慮
- 一般・スポーツ自転車試乗コース:約280m
(2025年より約80m延伸)
- 子供自転車試乗コース/特殊自転車試乗コース:約40m
- 補助輪外し体験/スポーツ自転車体験コース:約40m
- ステージ
- 駐輪場

出展社駐車場

自転車に関心はある

自転車にまだ関心が高くない

子供

大人

■スポーツエンタメ広場(出展エリア)

●ガーデンパーク(芝生エリア)

★ステージ

■会場外・他イベント(場外)

■補助輪外し(体験)

■キックバイクレース(体験)

■お菓子すくい(集客)

★パフォーマーライブ/
ゲストトークショー等(集客)

■スタンプラリー抽選会(集客)

●ミニスポーツゲーム(集客)

●縁日(集客)

●/★大道芸(集客)

★ ○×クイズ(集客)

■ 散走(体験)

■ E-BIKE TOUR(体験)

■初めてのスポーツ自転車体験(体験)

■初めての電動アシスト自転車体験(体験)

★ミラクル・サイクル・ライフ公開収録(集客)

●BIKE HEALTH CHECK
PARK (体験)

有明ガーデン パーク コンテンツ案

イベントコンテンツの考え方

お子様やファミリー向けの集客コンテンツを実施。
ショッピングモールからの視認性もあり、主に自転車の魅力を知らない方々にご来場いただく施策として、会場の賑わいを創出します。
また、各イベント及びスタンプラリーカード配布などにより、出展エリアへも効果的に誘引します。



●集客イベント(緑日・大道芸・ミニスポーツゲーム)



●体験アクティビティ



集客イベント

芝生エリアの利点を生かし、集客効果の高いお子様やファミリーが楽しめるコンテンツを展開します。
ショッピングモールから視覚的に目立つ場所で縁日や大道芸、ミニスポーツゲームを実施し、より多くの方を出展エリアへ誘引します。

■縁日(NEW)

懐かしくて楽しい昭和の縁日を再現、お子様も参加しやすいコンテンツを用意します(射的、輪投げ、千本引き)。



ミニスポーツゲーム(NEW)

アクティブなお子様やファミリーを集客するために、スポーツ系ミニゲームを用意します(ストラックアウト、キックターゲット、バスケットシュート)。



■大道芸(NEW)

芝生エリア内を移動しながらパフォーマンスを披露することで、集客と共に会場全体を盛り上げます。



体験アクティビティ

手軽な健康増進体験として、ロコモ検査/骨密度測定とバーチャルサイクリングを組み合わせ、自転車と健康の関係に興味を持たせるコンテンツを展開。仲間や家族と一緒に参加することで、楽しみながら自転車に乗る目的や健康意識を高めるきっかけを創出します。

■BIKE HEALTH CHECK PARK ～ 乗って、測って、つながる ～ (NEW)

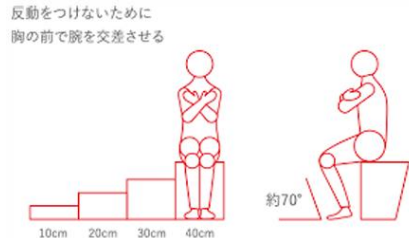
■体験価値

- ・自分の健康状態を“見える化”
- ・仲間や家族と結果を共有する
- ・自転車を活用した健康習慣のきっかけづくり

■ポイント

- ・初心者/ファミリーでも参加しやすい
- ・滞在時間を創出する体験型コンテンツ
- ・スポンサー連携による付加価値向上

①ロコモ検査(身体チェック)



【ロコモ検査とは】

骨・関節・筋肉などの運動器機能が低下し、将来介護が必要になるリスク(ロコモティブシンドローム)を評価する指標です。主に、「立ち上がりテスト」「2ステップテスト」「ロコモ25」の3種類で構成され、下肢筋力やバランス能力、生活支障度を測定します。

②バーチャルサイクリング体験



バーチャルサイクリングを楽しんでもらいながら、走行時間や強度によるカロリー消費について説明。お菓子や軽食等のカロリーをパネルに表記、消費量と運動量を理解してもらう。
※脂肪1gのカロリー: 約9kcal

③骨密度測定(健康状態の可視化)



骨密度検査を行い、骨に対する知識を身に付けてもらいながら、日常的にスポーツを行うことで骨を強化できることを伝える。その際、ひざや腰に負担がかからないフィットネスや未病としての自転車活用を紹介する。

④健康ドリンク配布(健康意識の定着)



①ロコモ検査 ②バーチャルサイクリング体験 ③骨密度測定(健康状態の可視化)を体験した方にR-1ドリンク配布。

骨・関節・筋肉などの運動器機能が低下し、将来介護が必要になるリスク（ロコモティブシンドローム）を評価する指標です。

主に、
「立ち上がりテスト」
「2ステップテスト」
「ロコモ25」の
3種類で構成され、
下肢筋力やバランス能力、生活の支障度を測定します。



自転車とロコモの関連

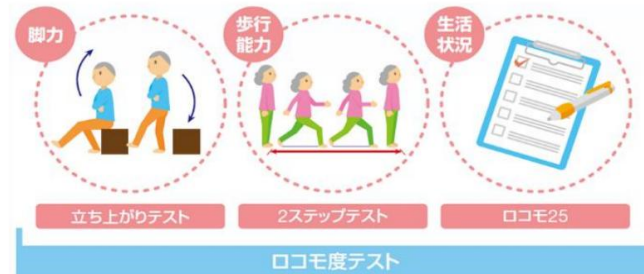
自転車（サイクリング）は、ロコモの予防や運動習慣の定着に非常に効果的です。

膝への負担が少ない：ランニングと異なり、体重の大部分がサドルにかかるため、膝関節への衝撃を抑えつつ下肢筋力を鍛えることができます。
効率的な有酸素運動：継続的なサイクリングは脂肪燃焼や心肺機能の向上に役立ち、運動不足の解消に繋がります。

ロコモ予防効果：高齢者の自転車運転は、筋力維持によるロコモ予防効果が期待されています。ただし、加齢によるバランス能力の低下からくる転倒・事故には十分な注意が必要です。

電動アシスト自転車の活用：体力に自信がない場合でも、電動アシスト自転車を利用することで、膝への負担をさらに軽減しながら長時間、無理なく運動を続けることができます。

《ロコモ度の項目と臨床判断値》



ロコモ度1

どちらか一方の片脚で
40cmの高さから
立ち上がれない

2ステップテスト値が
1.3未満
2歩幅 (cm) ÷ 身長 (cm)

ロコモ25の
結果が7点以上

ロコモ度2

両脚で20cmの
高さから上がれない

2ステップテスト値が
1.1未満

ロコモ25の
結果が16点以上

※ 3つのテストの臨床判断値のうち1つでも該当すれば、ロコモ度に該当したことになる

※ ロコモ度判定に最低限必要な立ち上がりテストボックスは(20cmと40cm)